

スティーヴ・マックイーンの洗礼

Lesson

The McQueen Style

02 SHOES

© amanaimages

**旧名称「Play Boy CHUKKA」、
伝統の一足で忍び足**

正式名称は「HI-Top CHUKKA」。英国の著名なタンナー＝チャールズ・F・ステッド社の上質なスエードを使用しており、色落ちもしにくく耐久性に優れている。4万6440円/SANDERS (GLASTONBURY SHOWROOM)



**スポーティでありながら
ドレッシーの顔を持つ二足**

**イギリス靴の聖地の
老舗の味わい**

素朴で堅牢な伝統的靴作りを続け、プリンス・オブ・ウェールズのロイヤルワラントを授かっている1829年創業のトリッカーズの一足。5万4000円/Tricker's (SEPTIS)

タートルネックセーターの上にエルボーパッチ付きのツイードジャケットを着る。左胸にはアツプサイドダウンのホルスター、そこに銃口を上にに向けて納まっている銃はコルト・ダイアモンドバック。左には予備弾丸。そして、スエードのマッドガードシューズ。もちろん、『ブリット』（1968年）だ。この映画ではサンフランシスコの市内でのカーチェイスが記憶に深く刻まれているが、絶妙なレングスのステンカラーコートと件のツイードジャケットに加え、このシューズのカッコいい履きこなしにヤラれた男は数知れない。チャッカブーツなのにソールが気になる。底が気になる。そこが気になる。

なぜ、マッドガードというのか？ 直訳

**その名も遊伍、
チャッカブーツの登場！**

三陽山長史上初のマッドガード製法。アーチサポートインソールを採用し、コンフォータブルな履き心地を実現。フカフカとスニーカー感覚で履ける。4万1040円/SANYOYAMACHO (SANYOYAMACHO GINZA)



すれば「泥よけ」という意味だ。確かに、クレープソールをデザートブーツのようにソールとして貼り付けたのではなく、サイドまで張り込んでいる。マッドガード製法はクレープソールを圧着で付けて、側面をグルリと巻いたアウトソールが大きな特徴となっている。このことによって、雨水や泥水の侵入・浸食を防ぐことが出来るのだ。このシューズは「ブリット・チャッカ」と呼ばれることがあるが、それ以前から「レイボーイ・チャッカ」という通称があった。名前の由来は「夜中にガールフレンドを誘い出すときに家族に知られないよう足音がしない靴」という説がある。デザートブーツの音がしないのに、この名前が冠されたのは、ただ、男前の靴だったからに違いない。ステイヴ・マックイーンがプライベートでも愛用したのは、だから、当然だったわけだ。



**マックイーンに
なり切る一足**

東京八王子を本拠に置く「Gozovation」オリジナルの一足。現存するブーツの中でマックイーンが履いていた「マッドガード」に最も近い一足（数量限定・2色展開）。各4万6000円。さらに同社では現在、「吟きスエードの上等な革を使った裏革のない1枚仕立て」のマッドガード・ブーツの製作にも挑んでいる（Gozovation）

